

加賀のアトリエから

あまべ きみこ
海部 公子

かっかと照るかとおも
えばどしゃ降りの雨にな
ったり、例年にない不安
定な天候で、八月六日も
八月十五日も終日の降雨
であった。

平和が遠くにかすんで
つまづき停滞する世界。
そこに追隨してゆくばか
りの日本政府の対応にい
らだち、なさけなさが降
らせたような真夏の雨。

来年は敗戦から七十年
目を迎えるというのにこ
のありさまはいかがか。
テレビに映ったオバマ
氏の頭がここ急に白くな
り、ふっきれないその表
情が、六年前に核廃絶を
訴えたプラハ宣言にダブ
って揺れる。

人が平和に近付くとは
どういうことか。先ずは
暴力を否定することでは
ないのか。これは誰にで
も分かり易いことなの
に、実際には釈然としな

八月の雨

いことが多過ぎる。
暴力を否定しながら暴
力を使う。これは嘘っぱ
ちの最たるものではない
か。自衛のためとか、抑
止力だと強弁し、積極的
平和主義などの口実をも
って、暴力行使が前提の
軍事機能の強化推進に傾
き続ける日本政府。これ
は嘘っぱちのさらなる上

塗りに他なるまい。日米
軍事合同演習など、聞く
だにおぞましい。原爆の
傷未だ癒えないところへ
原発事故を被っている日
本。沖縄をふくむ日本全
国の軍事基地を撤廃し、
日本は非核三原則を徹底
厳守し、東アジア全体の
非核地帯化を真剣に目指
すべきではないか。

不戦を誓い、平和へと
進路を定めた日本は、憲
法九条の真意を曲げ、つ
くり替えてはいけない。
平和に向かうとは人間
がその心と共に生きるこ
と。人間の内面の真実に
共鳴し呼応してゆくこと
だから、これ以上の勁さ
と佳さをもつ生き方はな
いはずである。

地下資源など殆ど無
く、天変地異の脅威や自
然の厳しさに鍛えられな
がら、多くの日本人が既
得権などに頼れないこと
で発見するのは、自己の

人間がその心と共に在
るあかしが地域や国境を
越え時を超えて伝わる。
ヴァン・ゴッホは絵画
を通じて、そういう日本
人を知り、あこがれた。



内なる力である。
その力を出しつつ、互
いを必要とし助け合う人
間関係を大切に。そ
こに培われる自他への信
頼から良い「作物」が生
まれてくる。

勤勉でまっ正直、苦楽
を領け合う心は透明で明
るい。そんな生活の心に
こそ平和が宿ると思っ
てきた。私の中に憲法九条
があることを感じてい
る。(色絵磁器画工)